

# 老舗企業(創業100年以上)の長寿の秘訣 ～関西老舗企業52社のヒアリング結果から～

平成25年2月6日  
近畿財務局

・老舗企業数では、大阪府が東京都に次いで2位。  
・老舗輩出率(老舗企業が占める構成比)は、京都府が全国でトップとなっている。

## 【老舗企業数 上位5地域】

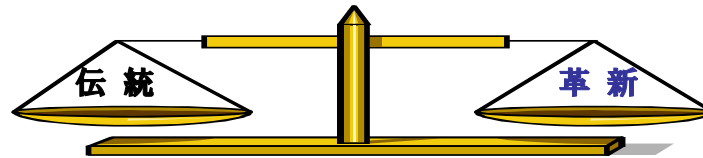
	都道府県	企業数
1	東京都	2,328
2	大阪府	1,272
3	愛知県	1,271
4	新潟県	1,120
5	京都府	1,090

## 【老舗輩出率 上位5地域】

	都道府県	企業数	輩出率
1	京都府	1,090	3.93
2	山形県	543	3.75
3	島根県	325	3.63
4	新潟県	1,120	3.57
5	滋賀県	426	3.25

出典：帝国データバンク

## ○長寿の秘訣は「伝統」と「革新」のバランス



### 1. 本業重視の経営、品質の維持

・「本業」であれば、どんな難しい仕事でも手を出し、「本業以外」は、どんなに儲かる仕事でも手を出さなかった。

(1892年創業・造園工事業)

### 2. 堅実経営(身の丈経営)

・「背伸びをするような経営はするな」、「手形の商売はするな」ということを代々引き継いでいる。

(1912年創業・卸売業(旗))

### 3. 企業理念の継承

・創業時から「先義後利」という家訓を守っている。

(1689年創業・製造業(麩))

### 4. 顧客ニーズに合わせた既存商品の改良

・目の前の一人のお客様が本当に満足できる製品を作ることに集中した。その結果、新商品開発に成功し、卸専門業者からメーカーに転換した。

(1804年創業・製造業(綱))

・ネットを使った販売にも注力し、販売エリアは全国に広がった。

(1800年創業・製造業(玩具))

・設備投資のタイミングは、「早すぎず」、「遅すぎず」である。

(1912年創業・印刷業)

## ○長寿の秘訣を漢字一字で表すと「信」

### <誠>

・誠実に対応。自分の心に偽りはないか。この時々で誠実に対応。

・嘘をついて経営を行ってれば、ある時期はいいかもしれないが、いずれ継続することができなくなる。

### <信>

・のれん＝「信」であり、顧客の期待に応えるのも「信」、安全な商品を提供するのも「信」。どれか一つでも欠けてしまえば、「信」を失い終焉に繋がる。

・約束を守ること。謙虚であることも大事だが信用は絶対的。

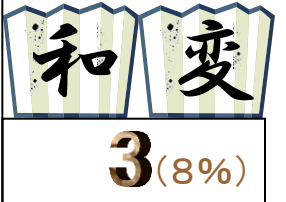
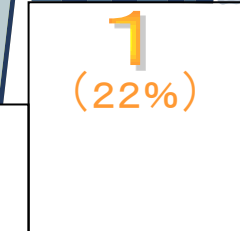
### <和>

・取引先の「和」、地域の「和」、社員の「和」。「和」をもって一致団結

### <変>

・変わらないこと、常に変化すること。

・問題点や課題を良い方向に変えていくこと。



## ○老舗企業は、最大の危機をどう乗り越えたのか

### 1. のれんを捨てる覚悟 近江屋ローブ(株)(製造業・綱)・1805年創業

ローブや産業用資材などの卸売業だが、バブル崩壊後、大幅に受注が減少し赤字に転落。モチベーションの低下したベテラン社員を叱責したところ、「社長はもう私たちを見捨てているのでしょうか?」と指摘され、無意識のうちに暖簾を守るのを最優先にしていたことに気付かされ、強く後悔した。

それを機に何よりも社員を守るため、新製品の獣害防止ネットの開発を決意した。卸専門からメーカーへ、暖簾を捨てる覚悟でその社員と共に取り組んで成功。農家にも喜ばれ、若手社員も感動。各課の垣根を越えてその営業に参加し、業績は大きく回復。社内は、活気に満ちている。

### 2. 温故知新による復活劇 (株)永楽屋(製造業・繊維製品)・1615年創業

390年超の歴史を持つ綿織物商。戦後、タオル製造卸へ転向し、主にデパートとの取引により急成長。ところが、1985年のプラザ合意以降の円高を背景に海外ブランドのタオルが流行、売上は激減し、倒産の危機に。借金返済のため、本家の邸宅を売却、社員のリストラをするが業績は回復せず。

そんな折、会社の倉庫を整理していた社長は、斬新なデザインの手ぬぐいを発見。それは、戦前この会社が作っていたものであった。社長は、390年の歴史と現代の技術を手ぬぐいに注入し、復刻版を完成させ、売り出したところ、見事大ヒット。業績のV字回復を成し遂げた。